



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場取引所 東 福

上場会社名 小野建株式会社

コード番号 7414 URL <http://www.onoken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 建

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 小野 信介

TEL 093-561-0036

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	107,430	1.4	1,940	10.9	2,052	10.0	1,234	17.1
24年3月期第3四半期	105,935	11.4	1,750	△8.3	1,865	△8.5	1,054	△23.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,270百万円 (23.7%) 24年3月期第3四半期 1,027百万円 (△25.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	59.58	59.58
24年3月期第3四半期	50.87	50.87

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	98,739	47,087	47.6
24年3月期	103,559	46,275	44.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 47,002百万円 24年3月期 46,199百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.00	—	10.00	22.00
25年3月期	—	12.00	—		
25年3月期(予想)				15.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	146,217	△1.2	2,953	18.2	3,080	16.4	1,903	26.0	91.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	21,244,830 株	24年3月期	21,244,830 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	518,954 株	24年3月期	518,953 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	20,725,877 株	24年3月期3Q	20,725,893 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、長期化する円高およびデフレ等の影響から先行き不透明な状況で推移いたしました。政権交代に伴う経済政策への期待により円安、株高の動きとなり、景気回復への明るい兆しも見え始めました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、従来からの基本戦略である「販売エリアの拡大」と「販売シェアの向上」の一環として、9月に四国営業所を愛媛県松山市に開設いたしました。業績につきましては、鋼材市況は軟調に推移したものの、販売数量が増加したことならびに完成工事高も増加したことにより当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,074億30百万円（前年同期比1.4%増）となりました。損益面におきましては、鋼材市況が軟調に推移したことによる在庫出荷分の利益率が低下しましたが、販売数量が増加したことにより、営業利益19億40百万円（前年同期比10.9%増）、経常利益20億52百万円（前年同期比10.0%増）となりました。特別損益といたしましては株価低迷による投資有価証券評価損が発生しましたが、四半期純利益は12億34百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①九州・中国エリア

鋼材市況は下落したものの販売数量ならびに完成工事高の増加により外部顧客への売上高、ならびに利益が増加いたしました。その結果、外部顧客への売上高は570億2百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益は12億60百万円（前年同期比33.5%増）となりました。

#### ②関西・中京エリア

鋼材市況は下落したものの販売数量の増加により外部顧客への売上高、ならびに利益が増加いたしました。その結果、外部顧客への売上高は282億99百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は3億46百万円（前年同期比40.3%増）となりました。

#### ③関東・東北エリア

鋼材市況は下落したものの販売数量を伸ばせたことにより外部顧客への売上高は前期水準を確保いたしました。しかし、損益面におきましては、市況が軟調に推移したことによる在庫出荷分の利益率が低下したことにより減少いたしました。その結果、外部顧客への売上高は221億28百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益は4億5百万円（前年同期比36.1%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産の部)

前連結会計年度末比48億19百万円減少し987億39百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金ならびに商品及び製品の減少によるものです。

#### (負債の部)

前連結会計年度末比56億31百万円減少し516億52百万円となりました。主な要因は、買掛金、短期借入金の減少によるものです。

#### (純資産の部)

前連結会計年度末比8億11百万円増加し470億87百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月5日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金の費用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はそれぞれ軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,769	2,237
受取手形及び売掛金	53,562	48,742
商品及び製品	11,563	10,079
原材料及び貯蔵品	1,247	1,032
その他	3,982	5,917
貸倒引当金	△271	△245
流動資産合計	71,854	67,764
固定資産		
有形固定資産		
土地	18,916	18,916
その他(純額)	11,255	10,630
有形固定資産合計	30,171	29,547
無形固定資産		
のれん	202	119
その他	89	72
無形固定資産合計	291	192
投資その他の資産		
その他	1,797	1,773
貸倒引当金	△555	△537
投資その他の資産合計	1,241	1,236
固定資産合計	31,705	30,975
資産合計	103,559	98,739
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,208	32,923
短期借入金	17,500	12,700
未払法人税等	527	243
賞与引当金	206	105
役員賞与引当金	56	39
その他	3,445	4,314
流動負債合計	55,945	50,325
固定負債		
長期借入金	40	22
退職給付引当金	495	493
役員退職慰労引当金	397	399
資産除去債務	62	63
その他	343	347
固定負債合計	1,338	1,326
負債合計	57,283	51,652

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,780	3,780
資本剰余金	3,509	3,509
利益剰余金	39,358	40,134
自己株式	△602	△602
株主資本合計	46,045	46,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147	164
繰延ヘッジ損益	7	15
その他の包括利益累計額合計	154	180
少数株主持分	75	84
純資産合計	46,275	47,087
負債純資産合計	103,559	98,739

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	105,935	107,430
売上原価	98,290	99,560
売上総利益	7,645	7,869
販売費及び一般管理費	5,895	5,928
営業利益	1,750	1,940
営業外収益		
仕入割引	52	63
受取家賃	35	37
その他	99	70
営業外収益合計	186	171
営業外費用		
支払利息	32	26
売上割引	38	32
その他	0	1
営業外費用合計	72	60
経常利益	1,865	2,052
特別利益		
固定資産売却益	1	0
出資金売却益	0	—
特別利益合計	1	0
特別損失		
投資有価証券評価損	—	31
その他	3	0
特別損失合計	3	32
税金等調整前四半期純利益	1,863	2,020
法人税等	799	776
少数株主損益調整前四半期純利益	1,064	1,243
少数株主利益	9	8
四半期純利益	1,054	1,234

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,064	1,243
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△23	17
繰延ヘッジ損益	△13	8
その他の包括利益合計	△36	26
四半期包括利益	1,027	1,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,017	1,261
少数株主に係る四半期包括利益	9	8



## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) 重要な後発事象

## 連結子会社の吸収合併

当社は、平成25年1月21日開催の取締役会において、平成25年3月1日を効力発生日とし、当社を合併存続会社として、当社の連結子会社で完全子会社である横浜鋼業株式会社を吸収合併することを決議いたしました。

## (1) 合併の目的

横浜鋼業株式会社は、昭和23年10月に設立以来、関西エリアを中心に業績を拡大し、北陸・中国・四国エリアまで営業網を確立しており、さらには、平成20年3月に当社の連結子会社、平成20年10月には当社の100%連結子会社となり、当社グループの一員として現在では当社グループの鋼材販売事業において、関西エリアの中核会社として重要な役割を担っております。

また、当社大阪支店は、昭和58年8月に開設し、現在では関西エリアのみならず、北陸・中国・四国・中部エリアまで営業網を拡大しております。

このような状況、さらには、経済環境が激変するなかで、今後、当社グループとして競争力を一層高め、さらなる発展を遂げていくためには、当社大阪支店と横浜鋼業株式会社との間で重複している営業エリアを整理し、顧客に対するサービスの向上を図り営業力を更に強化する体制を構築する必要があると判断し、両社を一体運営（本合併）することといたしました。

さらに、本合併により、経営資源の集約による経営の効率化、購買一元化による購買コストの削減、間接部門統合による管理コストの削減を図ることができ、これにより当社グループの鋼材販売事業の基盤をより一層強固なものとし、当社グループの更なる業績向上を目指してまいります。

## (2) 合併の相手会社についての事項

商号	横浜鋼業株式会社
本店の所在地	大阪府大阪市西区九条南2丁目24番20号
代表者の氏名	代表取締役社長 伊藤 誠基
事業の内容	鋼材販売業
資本金	100百万円（平成24年3月期）
純資産	1,722百万円（平成24年3月期）
総資産	6,937百万円（平成24年3月期）
売上高	8,988百万円（平成24年3月期）
当期純利益	63百万円（平成24年3月期）

## (3) 合併の内容

## ①吸収合併の方法

当社を存続会社、横浜鋼業株式会社を合併消滅会社とする吸収方式であり、横浜鋼業株式会社は解散いたします。

## ②吸収合併に係る割当ての内容

横浜鋼業株式会社は当社が100%の株式を保有する子会社であるため、本合併による新株式の発行及び資本金の増加並びに合併交付金の支払いはありません。

## (4) 実施予定の会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。